

# KIFA

河内長野市国際交流協会

# Report

# Vol. 108

# Jan. 2019



● WORLD POTLUCK 世界ごった煮

● 世界とつながろう！

● 河内長野版英語村 TREK

● 日本語ボランティア講座 基調講演

● 思いがけないカーメルからのお客さま

● 多文化の部屋 南天苑 インバウンド事情

● コンニチハ！日本語サロンです

● インフォメーション



# WORLD POTLUCK

## 世界とつながろう！ Be Global!

「World Potluck 世界ごった煮 2018」に先駆けて、「世界とつながろう！」が開催されました。当日の飛び入り参加も含めて、40人近い子どもたちが集まりました。参加国は、アルゼンチン、韓国、フィリピン、スイス、ペルー、カナダ、インドネシア、中国。国ごとのブースで、その国の言葉や遊びなどを紹介してもらいます。最後は、習ったあいさつの言葉を使いながら、講師とハイタッチ。これを機会に、子どもたちの心の窓が世界に向かって大きく開いたことでしょう。

KIFAの新しい国際イベント「WORLD POTLUCK 世界ごった煮」が開催されました。述べ17カ国が参加してそれぞれの持ち味を発揮し、みごとにごった煮ができあがりました。当日の様子の一部を、写真でお届けします。



最後はハイタッチ！  
いろいろな国の言葉を  
言えたね



チャイナドレスも  
着てみました！



ダンスパワーズ（日本）

バリダンス（インドネシア）



ファッションショー（インドネシア）

## ステージパフォーマンス

トニー先生と歌おう！（語学クラブ）



和太鼓（長野高校）



インド舞踊（迦楼羅）



ラテンダンス

色々な楽器を  
鳴らしてみよう！



フローレス・デュオ  
（ペルー）



民族衣装体験も  
大人気！



# 世界ごった煮 2018

11月18日(日) 市民交流センター 1階、3階、4階

イベントホール フォーズ  
各国の味と雑貨が大集合!



韓国



オーストラリア



ペルー



ベルギー



カナダ



日中友好協会



南天苑



スイス



にしおか酒店



ポワイエのブースも賑わっていました



地域女性協議会



ロウの造花作りも



スウェーデンのおもちゃ、BRIOの部屋

## ワークショップ



バルーンアート



絵葉書コーナー

## 英語絵本の読み聞かせ & 英語紙芝居

河内長野市立図書館とのコラボレーションで、ネイティブによる英語絵本の読み聞かせと、英語紙芝居をしました。図書館の読み聞かせの部屋に集まってきた子どもたちは、興味津々です。「この魔法のベルが鳴るとこの部屋は英語のお部屋ですよ」という図書館の方の合図ではじまりました。読み聞かせのはじめは日本語と英語の絵本でした。内容がわかりやすく、岸本エリさんの楽しそうな口調の英語に引き込まれます。

次は藤井ジョイさんの英語紙芝居「3匹のこぶた」。ストーリーは大体わかっているのですが、でも全部英語です。英語独特の生き生きとした表現があふれていました。英語が全部はわからなくても、お話の世界には入っていきそうです。

他にも英語での手遊びや、「金太郎」の英語紙芝居もあって、子どもたちが英語のシャワーをいっぱい浴びたひとときでした。



サポーターの皆さんによるヤングアメリカンズの紹介も好評！150人近い方たちに説明を聞いていただきました。





Phil Nelson 先生

# 河内長野版 英語村 Try Real English Kawachinagano

10月27日、11月10日、17日(土)  
市民交流センター3階



Simon Sylvan 先生

## 「英語村構想」ついに始動!

10月27日、第1回河内長野版英語村TREK(トレック)というイベントが開催されました。TREKとは「Try Real English Kawachinagano」の略称で、「リアルな英語に挑戦しよう!」という、このプログラムのテーマを表しています。

## ★英語村って?

国内各地で広まっている、体験型の英語学習の場です。ここでは日本語は使わず、コミュニケーションは全て英語。ネイティブ講師との会話や、ゲーム・音楽・スポーツなどのアクティビティを通して、生きた英語を体験します。

大学や民間企業が運営する英語村もありますが、河内長野市のTREKは「地域連携型英語村」として、河内長野市教育委員会が主催しています。

## ★第1回TREKレポート

講師はアメリカ出身のPhil先生と、イギリス出身のSimon先生。どちらも市内の小中学校で英語を教えている、現役のネイティブ講師です。

「Everybody! Nice to meet you!」「Nice to meet you!」まずは先生が子どもたちに自己紹介。言葉は全て英語ですが、ジェスチャーが豊富で楽しく、子どもたちはぐんぐん引き込まれていきます。

「How about food, what food do I like the best?」(僕の一番好きな食べ物は何だと思おう?)と先生が問かけると、「Takoyaki?」「Curry and rice?」と、子どもたちも元気に発言します。英語での軽快なやりとりを通して、子どもたちの気持ちはどんどんほぐれていきました。

## ★さあ、喋ろう! Let's speak!

今度は子どもたちの番です。会場を歩き回って色々な人とペアになり、互いに自己紹介していきます。

My name is ~.

I like ~.

I go to ~. (学校名)

参加者は市内のあちこちの小中学校から集まっているので、初対面の子がほとんどですが、み



んなとても積極的。「Hello. Nice to meet you!」と、あちこちから挨拶が聞こえてきます。「英語を使いたい!」というみんなの気持ちが伝わってきました。自己紹介の順番は、ジャンケンで勝ったほうから。ジャンケンも英語式に、「Rock-paper-scissors, One two three!」日本語に頼らず、アイコンタクトやジェスチャーを使いながら、色々な人と英語でコミュニケーションをとることができたようです。

## ★英語でゲーム!



第1回はハロウィーンのことを学びました

習った言葉でかるた取り  
つい熱中します



第2回はサンクスギビング(感謝祭)  
知らないことが多かったかな



第3回のテーマはクリスマス

## ★あつという間の一時間半

終了後、お迎えに来たお父さんお母さんに「楽しかった!」と話す子どもたちの声が。リアルな英語をたくさん聞いて、喋って、楽しい時間を過ごせたことが、みんなの喜びや自信につながれば何よりですね。

今回のTREKは、河内長野市の英語村構想の第一歩となりました。これから、より広く、より豊かなプログラムに発展していきますように。



## あふれた WORLD POTLUCK ごった煮 写真レポート



スカンジナビア写真集



いろいろな国の子ども絵画展



語学クラブの活動紹介



日本語サロンの活動紹介

## 地域で考えるこれからの多文化共生

～知っておきたい異文化と多様性への理解～

11月23日（祝・金） 市民交流センター 3階 大会議室

講師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

講師にお迎えした田村先生は、阪神・淡路大震災での外国人への情報提供を機に「多文化共生センター」を設立されました。政府、民間を問わず、様々なところで多様性や外国人との共生推進についてご活躍の先生に、地域での多文化共生についてお話を伺いました。河内長野に来ていただくのは3回目です。「その間に20キロ太って5キロ痩せました」とおっしゃる先生。楽しい雰囲気での講演が始まりました。

「災害時の外国人の安否確認で一番役に立つのは、地域の日本語教室なんです。日本語教室では、災害時の日本語もテーマとして取り上げていただきたいですね。ちょっと日本語のわかる外国人は、『電車が不通』と聞くと『電車が普通』と誤ってしまふんですよ。』『余震に気をつけましょう』というのはどういう意味でしょう。『地震の後ではまた地震が来るから、物が落ちてこないようにするなど気をつけましょう』という事まで伝えないといけないです。単に言葉の置き換えだけではだめなんです。『運動会』を『スポーツ・フェスティバル』と訳して伝えると、スポーツするだけなら、休ませて家族で出かけようとか考える外国人の保護者がいたりする。『運動会』が、学校の中でどれだけ重要な行事なのか、そのために教師も子どもたちも何ヶ月も準備をしてようやくその日を迎えるのだ、というところまで伝えて、はじめて理解されるのだとか。

現在日本の外国人住民の総数は約271万人だそうです。その41%が「永住者」資格を持って日本に滞在しています。10年継続して滞りし法律違反をしていないなどの要件を満たせば得られるため、永住者資格を持つ外国人は、近年増加傾向です。そのため、日本人と同様に子どもの教育、就労、本人の高齢化などの問題を抱え、また、住宅ローンを組んだり、自動車を購入

入したりもします。子どもが生まれたらどこへ行く、車を買えば自賠責保険に入らないといけないなど、あらゆる領域で多言語・多文化対応が必要になってきています。

「貧しくて、かわいそうな外国人」という概念も捨てなければならぬようです。東・東南アジア諸国の一人あたりGDPを比べてみると、日本は1995年にはトップでしたが、今ではもっと上の国もあります。日本はほとんど横ばいですが、他の国の発展が著しい。かわいそうではなく、対等であるとの認識が必要です。

地域の日本語教室は、「日本語習得の場」としてよりも「日本社会と外国人住民との接点」としての側面が強いです。また、学習者個々の課題、現状を把握し、それに適したプログラムを提供していく事が成功の鍵と語られます。地域全体で「日本語を学びやすい」環境の整備をして、地域に外国人を受け入れ、未来を共有するパートナーとして、ともに活動することが地域の発展につながる。地域の未来のための日本語教室。「日本語教室は大きな使命を負っている」と締めくくられました。

「え～、じゅうっ（永住）と住むの？」など、ダジャレも飛ばしながら、難しい問題もわかりやすくお話していただき、2時間はまたたく間に過ぎていきました。



## 思いがけないカーメルからのお客さま

10月のある日、天見の南天苑<sup>※</sup>に宿泊しているのが河内長野の姉妹都市のカーメル市民と偶然に分かり、急遽、市内あちこちに案内する機会を持ちました。帰国後に届いたお礼の手紙を紹介します。

「先日は皆さんの美しい街、河内長野で素晴らしい一日を過ごさせていただきありがとうございました。皆さんの優しさと広い心は、私達の日本旅行の間のどの経験にも勝るものでした。決して忘れることのない、そしてできればまたしてみたいと思うような経験でした。



生き生きと保っている街を見て、とても感動しました。

1月には、カーメルで河内長野との交流活動を続けているグループにお会いしようと思っています。私達は心躍る気持ちでこ

また、協会の組織と市民の皆さんに提供されている素晴らしい活動には、非常に感銘を受けました。他の地域について理解を深め、世界の国々との距離を縮め、かつ自らの文化や伝統を



ちらの人たちにあなたの街の美しさや心の広い人たちの事を話しています。他の人たちは是非河内長野を訪れるよう勧めたいと思っています。もちろん、KIFAの事務局に立ち寄るように言いますよ。

一生の思い出となる経験をさせていただいたことに、十分な感謝をすることは到底できませんが、これからも連絡を取り合っていきたいものです。」

ソフィー・ガーバー&エヴァン・クルーツアー

※南天苑 6頁参照

## 南天苑 インバウンド事情

12月1日(土) 市民交流センター 3階 中会議室

今や国内よりも海外での人気と知名度が高いのではと思われる、南海高野線天見駅すぐの老舗料亭旅館、南天苑。店主の山崎一弘さんをゲストにお迎えしてお話を聞きました。

南天苑の建物は、日本銀行や東京駅を設計したことで有名な建築家、辰野金吾氏が手がけたものです。1913年に、堺市大濱潮湯別館として建造されたものの、1934年の室戸台風で被害を受け、その後天見の地に移築されました。1949年からは南天苑として今に至っています。しかしその当時は、辰野氏によるものとはわかっていなくて、専門家の調査により、ようやく2002年になって、有名な建築家辰野氏の設計であることが立証されたそうです。2003年には、国の登録有形文化財に指定されました。

南天苑が現在のように外国人に人気の宿となるきっかけは、2013年に韓国の旅行情報サイトに登録したことによるようです。当時宿泊客も年間で200くらいだったので、サイトに登録することで、1組でも泊まりに来てもらえたらという思いだったとか。

現在のように外国人に知られるようになったのは、まず環境要因として、ビザの発給要件の緩和、LCCの就航、海外での日本のサブカルチャーの浸透などがありました。さらに、豊かな自然環境の中の伝統的日本建築、インスタグラムやFacebookなどのSNSによる情報拡散、またすでに留学生の受け入れを以前から行っていた事による外国人受け入れの素地ができていたことなどの内的要因も重



なって、現在のように外国人に人気の宿となったのではとのお話でした。

従業員にも、海外経験のある人や外国人を採用し、彼らの視点に立って宿泊客に対応してきたことが、さらに知名度をあげることに繋がったようです。無人の天見駅できつぷの買い方がわからない旅行者のために、説明板を作ったり、ヴィーガンやベジタリアン、グルテンフリーの食べ物しか食べられない人には、それに合わせた料理を提供したりと、長く滞在して、日本の自然や食べ物、景色を堪能していく海外の人たちには、まさに至れり尽くせりの魅力の宿なのでしょう。浴衣の着方や、お風呂の入りの入り方の英語説明書や、天見近郊の英語版散策地図も準備してありました。



スライドで紹介された中に、海外の方の結婚式の写真がたくさんありました。異国の地でありながら、かけつけた家族や友人たちといかにも幸せそうなカップルの様子が印象的でした。

面白かったのは、南天苑に宿泊していても、わざわざ電車で河内長野に向き、焼き鳥を食べたり、回転寿司屋やバッティングセンターに行ったりして河内長野を楽しむ人もあるそうです。この街の可能性も捨てたものではないと思いました。古民家を借りて、多文化で交流し、情報交換もできるような場所を提供していきたいとの楽しみな構想もお話いただきました。

多文化の見方、考え方に日常的に触れることのできる南天苑では、「日々がドラマ」「日々が勉強」とおっしゃる山崎氏。これからも、南天苑が、多くの人々を惹きつける、ワンダーランドであり続け、外国の方も日本人も魅了して欲しいものです。

### ●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan	13・20・27	15・22・29	17・24・31
2月	Feb	3・10・17・24	5・12・19・26	7・14・21・28
3月	Mar	3・24	5・12・19・26	7・14・28

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00  
千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:45  
市民交流センター(KICCS)3階

木曜日 Thursdays 18:00~20:00  
ノバティ南館3階 ノバティホール



### ●語学クラス スケジュール

コース	英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)	
時間	14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30	
開講日	1月	12	8・22	15・29	11・18	16・30
	2月	9	12・26	5・19	1・15	6・20
	3月	9	12・26	5・19	1・15	6・20



## ■デンマーク高校生との交流会

折り紙体験など日本文化を通しておしゃべりしてみませんか。

日程・時間：1月25日(金) 14:00～16:00  
 ところ：市民交流センター 3階 大会議室  
 定員：先着20名  
 参加費：会員 無料、一般 500円  
 申込み：電話かメールで 受付開始1月8日(火)

※ホストファミリーも募集します  
 期間：1月25日(金)～28日(月) 3泊4日  
 (28日(月)に、YMCAインターナショナル  
 ハイスクールへ)  
 お問い合わせ：KIFA事務局



## ■ボランティア・フェスティバル

河内長野市内のボランティア、市民活動の団体が一同に介して、それぞれの活動を紹介します。これから活動をしようと思ってい  
 らっしゃる方、必見です。



と き：2月24日(日)  
 10:00～16:00  
 ところ：市民交流センター全館  
 (図書館を除く)

KIFAは展示ブースで参加します。  
 海外物品の販売もあります。

2018年のボランティアフェスティバルで

## ■国際料理教室 ～韓国編～

毎年人気のキムチ作りです。  
 本場の味をお持ち帰りいただけます。

講師：金 鳳貴さん  
 と き：2月16日(土) 10:00～14:00  
 ところ：市民交流センター 食工房  
 参加費：会員 1000円、一般 2000円  
 持ち物：エプロン、三角巾、ふきん  
 定員：先着 30名  
 申込み：2月5日(火) から電話・メールで受付



## ■第17回日本語ボランティア講座

～始めませんか、日本語で広げる異文化交流～  
 地域の日本語ボランティア活動に関心のある方や既に活動  
 中の方を対象に多文化共生社会の現状と外国人への日本語指  
 導に関する知識と技能を講演と講義(全4回)で学びます。

※第1回目は11月23日に終了しました。

第2回「日本語ボランティアって何？」  
 と き：1月26日(土) 14:00～16:00

第3回「日本語が話せない外国人との  
 コミュニケーションのとおり方」  
 と き：2月2日(土) 14:00～16:00

第4回「楽しく話題を広げたい！」  
 と き：2月16日(土) 14:00～16:00

講師：矢谷 久美子氏  
 (財)海外産業人材育成協会関西研修センター講師  
 ところ：市民交流センター  
 3階 大会議室  
 お問い合わせ：電話、メールでKIFA事務局まで



矢谷 久美子氏

## ■第14回日本語サロンオーフンデイ

～日本語で国際交流しませんか?～

日本語サロンで学んでいる外国出身のみなさんが、日頃の成  
 果を発表し、その後、市民のみなさんと楽しく交流します。

と き：3月17日(日) 14:00～16:00  
 ところ：市民交流センター 4階 イベントホール  
 定員：先着 100名  
 参加費：無料  
 申込み：メールか電話で  
 受付開始3月5日(火)



2018年のオープンデイで



～年末・年始の休業について～  
 事務局は12月28日から1月4日まで  
 お休みとさせていただきます。

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30
開講日	1月	11・18	9・23	9・23
	2月	1・15	13・27	13・27
	3月	1・15	13・27	13・27

### ■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会(KIFA)  
 事務局  
 〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1  
 市民交流センター(キックス) 3階  
 TEL: (0721)54-0002  
 FAX: (0721)54-0004  
 Eメール: office@kifa-web.jp

## 日本の心

ドイ・ズイ・チュオンさん (ベトナム)



私はドイ・ズイ・チュオンと申します。ベトナムの北中部のタンホアから 2015 年 11 月に技能実習生として日本に来ました。もうすぐ 3 年間の実習期間が終わり 11 月末に帰国することになりました。

日本で生活したこの 3 年間に、たくさんの日本の印象が残っていますが、一番深い印象はきれいな景色と心の優しい人々の日本です。

ベトナムにも日本と同じく四季があり、それぞれの美しさがありますが、私は日本の春と秋が一番美しいと思います。日本の春と言えば桜です。桜は日本の象徴と言われています。春になると日本のどこでも桜が咲いて、満開の桜並木は美しい絵のようで素敵だと思いました。

それから日本の習慣の花見は大変楽しいものです。同僚や友人と花見の体験をしたことがあります。そこではたくさんのみんなが桜の木の下に集まって、食べたり、飲んだり、喋ったり、写真を撮ったりしました。本当に素晴らしい雰囲気でした。このような習慣はベトナムにはありません。だからいい思い出になって、いつまでも忘れられないでしょう。

日本の秋と言えば紅葉です。秋になると木の葉が紅葉します。ベトナムでは黄葉はあっても紅葉しないのです。休みの日に、私は友人と京都に紅葉を見に行き、写真を撮るためにたくさん撮りました。フェイスブックにきれいな写真を載せたら、ベトナムの友達が見てくれて、日本の景色は美しくロマンチックだと言いました。私は今年の紅葉を見て帰国しますが、出来ればいつか友人たちにこ

の紅葉を見せてやりたいものです。

最初、日本に来たときには緊張と不安で心配したことを覚えています。ある日、電車の乗り方が分からず、おろおろしていたら、日本の女の子があなたはどこに行きたいですかと声をかけてくれました。その女の子のおかげで、乗り方と降り方が分かって安心しました。日本人は優しく親切だと思いました。

今まで長い間日本に住んで、色々なことに気づきました。私の周りの人はいつも笑顔で、めったに怒っている顔は見せません。これはベトナムとちょっと違います。日本人は我慢強い性質だと感じます。例えば列に並ぶ習慣がすごく世界で有名だと思います。どんな場合でもきちんと並んでいて殺到したり、後ろから押したりとかあまりしません。ベトナムにはそんなマナーがまだないので、日本人に感心させられました。仕事の時はいつもきちんとしていて、時間にも正確です。

これまで日本人と一緒に働いて、色々な話ができただけで、たくさんのことを学ぶことができたと感じています。私は自分でもよく成長した、そして将来への道が広がったように感じています。私にとって貴重なこの 3 年間の体験をいつまでも大切にしたいと思っています。



最後に、私の好きな言葉は「一期一会」です。ありがとう、私の愛する日本！縁があればまた会いましょう、日本！

(2018 年 10 月記)

## インドネシア フェスティバル



インドネシアは、観光地として有名なバリ島を含む 17,000 の島からなる多民族・多文化・多言語・多宗教の国です。今年はインドネシア日本国交樹立 60 周年にあたる記念の年ということもあって盛大に行われました。

舞台では、インドネシア舞踊や学生さんたちによる発表、ファッションショーなどが次々に繰り広げられています。お昼前ということもあり、すっかりおなじみになったナシ

10月20日(土) 市民交流センター 4階 イベントホール

ゴレン、ミーゴレンなどを販売するフードコーナーは黒山の人だかり。すぐに売り切れてしまいました。

バティックやアクセサリーなどの工芸品の販売に加え、ハワイエでは、子供たちの絵画や日本とインドネシアとの深い関りを捉えた貴重な写真も展示され、皆さん興味深く見入っていました。

まるでイベントホールがインドネシアの島の一つになったように感じられる楽しい、和やかな秋の一日でした。



編

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年11月に行われた KIFA のイベント「World Potluck 2018 世界ごった煮」は大盛況でした。ステージでのパフォーマンス、食べ物や雑貨の販売、ワークショップやゲームなど、いろいろな国のごった煮状態。皆さんのお気に入りのテイストは見つかったでしょうか。

集

2018 年の日本も平昌冬季五輪、そだね～、モリカケ騒動、仮想通貨、築地移転、大阪万博の開催決定、入管法案、スポーツ界の不祥事、大坂ナオミ、シャンシャン誕生、Ghosn has gone とごった煮状態でしたが、こちらは、あまりおいしくない食材も混じていたかな。

後

2019 年の日本は、楽しくて素敵な栄養満点の global ごった煮でありますように。

記



isshie

無料  
メールマガジン  
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報をいち早くお知らせします。  
お申し込みは、事務局または、KIFA  
ホームページから

<http://www.kifa-web.jp/>

